

中学校 音楽

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、記述式解答用紙とマーク式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～大問 **2** については、記述式解答用紙に、大問 **3** ～大問 **4** については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **3** ～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

I 次の問いに答えよ。

(1) これから放送されるア～エの音楽を聴いて、楽曲名と作曲者名を記せ。

(2) これから放送されるオの音楽を聴いて、次の問いに答えよ。

①歌詞の続きをひらがなで記せ(1番のみ)。

②作詞者名を記せ。

2 次の問いに答えよ。

- (1) 次の楽譜をアルトサクソフォーンで演奏する楽譜にするために、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：コンコーネ50番 中声用
畑中良輔（編著者） 全音楽譜出版社
55ページ1行目

- (2) 次の楽譜を変イ長調に移調し、クラリネット in B $\flat$ で演奏する楽譜にするために、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：コンコーネ50番 中声用
畑中良輔（編著者） 全音楽譜出版社
62ページ1行目から2行目まで

- (3) 次の楽譜を変ホ長調に移調し、ホルン in Fで演奏する楽譜にするために、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：コンコーネ50番 中声用
畑中良輔（編著者） 全音楽譜出版社
28ページ1行目から2行目まで

- (4) 次の楽譜は箏を演奏するための縦譜の一部である。①～⑤の矢印で示した音の音名を記せ。
なお、調弦については平調子、第一弦を一点ホ音とする。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：中学生の音楽Ⅰ

小原光一ほか 教育芸術社

57ページ箏譜 縦書の例より4行目から5行目まで

3 次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1) 次のオペラ作品と楽曲の組み合わせのうち、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

	作品	楽曲
1	トゥーランドット	誰も寝てはならぬ
2	フィガロの結婚	恋とはどんなものかしら
3	愛の妙薬	人知れぬ涙
4	ルサルカ	星は光りぬ
5	椿姫	乾杯の歌

(2) 次の管楽器のうち、リード楽器の組み合わせとして、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

a ケーン b サンポーニャ c デイジュリドゥ d 箏 e 笙

1 a, b, c

2 c, d, e

3 a, c, d

4 a, d, e

5 a, b, e

(3) 次の舞曲の中で2拍子系のものの組み合わせとして、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

a ガイヤルド b サラバンド c ポルカ d メヌエット e ハバネラ

1 c, e

2 a, d

3 b, c

4 d, e

5 a, b

(4) 次の弦鳴楽器の説明について、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は 4

- | | | |
|---|--------|---|
| 1 | シタール | 北インドの弦楽器。7本の主要弦と十数本の共鳴弦をもち、フレットの位置を変えることができる。 |
| 2 | バラライカ | ロシアの弦楽器。3弦で、フレットのついた棹と三角形の共鳴胴をもつ。 |
| 3 | チャランゴ | イランの弦楽器。台形の共鳴箱の上に4本ずつ18組の金属弦を張ったもの。 |
| 4 | サウン・ガウ | ビルマ（現ミャンマー）の弦楽器。皮を張った舟形の胴体に棹をつけた弓形のハープ。 |
| 5 | ウード | 西アジアの弦楽器。洋ナシ形の胴を持ち、棹にはフレットがなく、弦の数は複弦で5組のものが一般的。 |

(5) 「夏の思い出」の作曲者について、適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は 5

- | | |
|---|--|
| 1 | 東京音楽学校卒業。ドイツに留学したが、肺を病み帰国。23歳の若さで没した。歌曲やピアノ曲のほか「お正月」なども作曲した。 |
| 2 | 東京音楽学校ピアノ科卒業。歌曲、童謡、合唱曲、ピアノ曲など多岐にわたる数多くの作品を残した。作品に「かわいいかくれんぼ」などがある。 |
| 3 | 東京音楽学校卒業後、同校教授を勤めた。作品に「大阪市歌」、著書に「オルガン教科書」「基本和声学」などがある。 |
| 4 | 東京音楽学校卒業後、ドイツに留学。鈴木三重吉の童謡運動に参加した。作品に「りすりす小りす」などがある。 |
| 5 | 東京音楽学校卒業後、ドイツに留学。帰国後我が国最初の交響楽団を組織。作品に、オペラ「黒船」、歌曲「からたちの花」などがある。 |

(6) 次の日本の民謡と関係する都道府県名の組み合わせのうち、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は

- | | | |
|---|--------|-----|
| 1 | 南部牛追唄 | 岩手県 |
| 2 | 大漁節 | 千葉県 |
| 3 | 斎太郎節 | 高知県 |
| 4 | 貝殻節 | 鳥取県 |
| 5 | 五木の子守唄 | 熊本県 |

(7) 次のDTMに関わる語句の説明について、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。
解答番号は

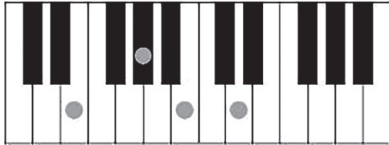
- 1 BPMとは、1分間に何拍刻むかを示したもの。テンポと同義で使われることが多い。
- 2 dBとは、音の大きさを表す単位のこと。
- 3 MIDIとは、電子楽器などの機器間で演奏情報のやりとりをするための統一規格のこと。
- 4 EQとは、複数のトラックの音量やパン、音質の調整を行うこと。
- 5 DAWとは、MIDIとオーディオ、ミキサーなど、音楽制作に必要な機能が統合されたソフトウェアのこと。

(8) 次の文楽に関する説明について、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 1745年（延享二年）、大坂竹本座初演の「夏祭浪花鑑」は「世話物」作品である。
- 2 下手の御簾内では、笛、太鼓、鼓、鉦などによる囃子や効果音が演奏される。
- 3 江戸時代の大坂で生まれた人形浄瑠璃文楽は、ユネスコの無形文化遺産に登録されている。
- 4 文楽の舞台セットでは、人形遣いが人形を操る場所は、舞台より低くなっており「床」と呼ばれる。
- 5 義太夫節では、通常、太棹とよばれる三味線を用いる。

(9) 次のコードネーム・音階に対して、鍵盤図・譜表・ギターのダイアグラムの適切な組み合わせを 1～5 から一つ選べ。解答番号は 9

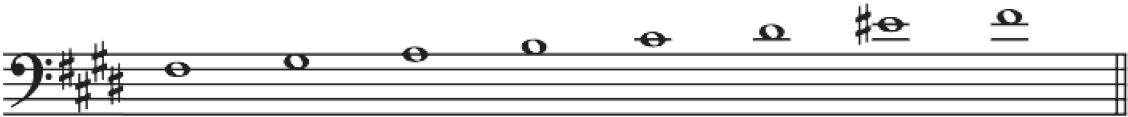
1 EM7 (キーボード上の●の示す音)



2 D^bm7



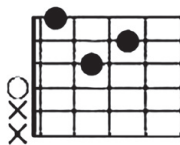
3 嬰へ短調 和声的短音階



4 リディア旋法



5 D (ギターのダイアグラム)



(10) 次の説明に当てはまる作曲家について、正しいものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

1781年ごろから作曲家、オルガン奏者であったクリスティアン・ゴットロープ・ネーフェに師事し、クラヴィーアやオルガンの奏法、作曲法などを学ぶ。

1793年からケルントナートーア劇場専属の人気作曲家ヨハン・バプティスト・シェンクに師事し、対位法を学ぶ。

1794年から聖シュテファン大聖堂楽長ヨハン・ゲオルク・アルブレヒツベルガーに師事し、対位法と和声法を学ぶ。

1800年ごろウィーンの宮廷楽長アントニオ・サリエーリに師事し、イタリア語による歌曲やオペラの作曲法を学ぶ。

- 1 N. パガニーニ
- 2 W.A. モーツァルト
- 3 J. ハイドン
- 4 G.F. ヘンデル
- 5 L.v. ベートーヴェン

- 4 「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第5節 音楽」に関する内容について、次の（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 第5節 音楽 第1 目標」について、次に示す空欄（ ア ）、（ イ ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第1 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、（ ア ）を次のとおり育成することを目指す。

（1）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、（ イ ）をするために必要な技能を身に付けるようにする。

- 1 ア 音楽文化と幅広く関わる資質・能力
イ 曲にふさわしい音楽表現
- 2 ア 音楽文化と幅広く関わる資質・能力
イ 表したい音楽表現
- 3 ア 音楽文化と豊かに関わる資質・能力
イ 創意工夫を生かした音楽表現
- 4 ア 音楽文化を尊重する態度
イ 創意工夫を生かした音楽表現
- 5 ア 音楽文化と豊かに関わる資質・能力
イ 曲にふさわしい音楽表現

(2)「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容」について、次のA、Bの問いに答えよ。

A 次を示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

12

第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕

2 内容

A 表現

(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり

(イ) ()

- 1 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性
- 2 言葉の抑揚や言語のもつ質感との関わり
- 3 曲種における発声や言葉の特質と音楽との関わり
- 4 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果
- 5 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり

B 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

13

第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕

2 内容

B 鑑賞

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造との関わり

(イ) (), 他の芸術との関わり

(ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性

- 1 生活や社会における音楽の意味や役割
- 2 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史
- 3 芸術としての音楽と文化的・歴史的背景
- 4 音楽表現の共通性や固有性
- 5 生活や文化における音楽の特徴

(3)「中学校学習指導要領（平成29年3月告知）第2章 第5節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」について、次のA、Bの問いに答えよ。

A 次を示す空欄（ ア ）,（ イ ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

イ 音楽によって喚起された自己のイメージや感情,（ ア ），音楽に対する評価などを伝え合い共感するなど,音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り,音楽科の特質に応じた（ イ ）を適切に位置付けられるよう指導を工夫すること。

- 1 ア 音楽的な見方・考え方
イ 言語活動
- 2 ア 音楽表現に対する考え方
イ 表現活動
- 3 ア 音楽を聴いて感じ取ったことや想像したこと
イ 言語活動
- 4 ア 音楽表現に対する思いや意図
イ 言語活動
- 5 ア 音楽についての解釈
イ 表現活動

B 次を示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

15

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(2) 各学年の「A表現」の(1)の歌唱の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

イ 変声期及び変声前後の声の変化について気付かせ、変声期の生徒を含む全ての生徒の心理的な面についても配慮するとともに、変声期の生徒については（ ）ようにすること。

- 1 適切な声域と声量によって歌わせる
- 2 自分の声の特徴に関心をもたせ、無理のない声域と声量で歌わせる
- 3 自分の声の特徴に関心をもたせ、適切な声域と声量で歌わせる
- 4 無理のない声域と声量によって歌わせる
- 5 今の自分の声で歌唱表現をすることを大切に、無理のない声域と声量で歌わせる

